

2016年1月吉日

各 位

連帯労働組合関西地区生コン支部「50年史」

出版記念シンポジウム実行委員会

本山美彦 京都大学名誉教授

生田あい コモンズ編集長

高井康裕 中小企業組合総合研究所理事長

山元一英 全港湾大阪支部執行委員長

藤中昌則 大阪兵庫生コン経営者会会長

毛屋和重 近畿生コン関連協組連合会理事長

2・5 関西地区生コン支部「50年史」出版記念シンポジウムのご案内

拝啓 新春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部（関生支部）は、1965年10月、5分会180名で結成されました。紆余曲折を経ながら拡大・発展し、昨年10月で50周年を迎えました。その記念事業として、「関西地区生コン支部 労働運動50年—その闘いの軌跡 共生・協同を求めて1965～2015」を出版されました。

関生支部は、企業別労組が本流の日本の労組形態とは異なり、一人でも加入できる個人加盟方式の産業別労組として発足されました。また、関生支部の組合員が組織された生コン工場や生コン輸送会社等が、セメントメーカーとゼネコンという大企業に挟まれて苦しみ中小企業であることから、産業の民主化を推し進める産業政策運動を全国に先駆けて実践されてきました。大企業と対等取引するために、中小企業は大同団結し、協同組合化することによって、共同受注共同販売・適正料金収受・品質管理強化・安定供給を可能にしてきました。その推進力が関生支部であったのです。

また、経済民主化と共に、政治の民主化を追求する労働運動として、つとに有名です。

関生支部の闘いの50年は、競争を本質とする資本主義社会の仕組みと違う、共生・協同の社会を求めるすべての人々にとっての共有財産であると存じます。

そこで、関係者が集って、関生支部への感謝と激励の気持ちを込めて、出版記念シンポジウムを開催する運びとなりました。共に歴史と今後の展望を共有すべく、ご多用とは存じますが、下記要領でご臨席を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

1. 2016年2月5日（金）18時 学働館・関生4階ホール（西区川口2-4-2）
2. シンポ 武建一関生支部委員長・熊沢誠甲南大学名誉教授・山元一英全港湾大阪支部委員長・高井康裕総研理事長・藤中昌則経営者会会長等

以上